

令和4年度
事業報告書
(決算書)

公益財団法人山口市文化振興財団

1 事業報告

(1) 事業概要

「山口市における文化の振興を図るため、企画事業を実施するとともに、市民の自主的かつ創造的な文化活動を支援促進し、もって個性豊かな地域社会の形成と市民生活の向上に寄与する」という財團設立時の趣意書に掲げる目的を達成するため、事業開始 27 年目を迎えた令和 4 年度において、以下の事業を実施しました。

事業のうち、定款第 4 条第 1 号に掲げる“市民の文化振興に関する事業の企画実施（以下「企画事業」という。）”においては、山口市から管理運営を受託している山口市民会館、中原中也記念館、山口情報芸術センターをはじめ、市内にある他の文化施設等を活用し、演劇公演、公開講座、展示、展覧会、教育普及事業等を、年間を通して実施しました。

同条第 2 号に掲げる“市民の文化活動の育成及び支援（以下「育成・支援事業」という。）”におきましては、当財団の目的及び事業に賛助する市民との機能的な連携を図るため、平成 9 年度に発足した「公益財団法人山口市文化振興財団友の会 “Ars Nova Yamaguchi”」の会員加入促進に努めました。

また、市民の自主的かつ創造的な文化活動を助成する「市民文化活動支援事業」を継続して実施し、市民の自主的な文化活動を積極的に支援することで、山口市の文化振興を図りました。

同条第 3 号の“文化振興に関する調査研究（以下「調査研究事業」という。）”においては、山口市所管課と連携した関係資料の調査、収集、複製の製作等により中原中也研究を推進するとともに、自主企画展事業に関する調査及び研究を行いました。

同条第 4 号の“文化に関する情報の収集及び提供（以下「情報収集・提供事業」という。）”においては、自主企画事業を広く市民に情報提供する情報誌として、「a n y」を年間 4 号発行いたしました。

また、山口市民会館においては施設における催物案内を、中原中也記念館においては中原中也研究に関わる情報提供のための館報を発行いたしました。

このほか、同条第 5 号の“文化施設の管理運営（以下「施設管理受託事業」という。）”においては、受託施設の維持管理業務として施設の安全及び保守を図るとともに、施設の利用促進等を図るための利用許可業務、利用料及び観覧料徴収等の受付業務を行いました。

（2）企画事業

山口市からの管理運営受託施設である山口市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、各施設の機能を生かしつつ、文化振興に関する各種企画事業を実施し、文化に触れる機会、参加する機会の拡充を図りました。

① 事務局

日本が誇る現代美術家・東芽（たばいも）と、現代サーカスパフォーマーのヨルグ・ミュラーによる新作映像舞台作品「もつれる水滴」を、日仏、ならびに国内の劇場4館の共同で製作し発表いたしました。布と身体の動きと映像によってこれまでに見たことのない舞台表現を実現し、客席を魅了しました。

この他、別紙一覧表に記載する事業を実施しました。

② 山口市民会館

ジャズピアニストの小曾根真を中心に結成され2022年に15周年を迎えた、総勢15名のビッグバンド「No Name Horses」による公演を行いました。

公演では、プラス、ジャズの管楽器界のスターが繰り広げる迫力あるサウンドと美しい音色が会場内に満ち溢れました。

リーダーの小曾根真による縦横無尽なピアノ演奏と、楽しいトークも秀逸で、興奮と感動を存分に味わえる公演となりました。

この他、別紙一覧表に記載する事業を実施しました。

③ 中原中也記念館

毎年、中也の誕生日であります4月29日に開催しております「空の下の朗読会」を実施いたしました。自作や愛読の詩を朗読する一般参加の朗読会と、シンガーソングライターの二階堂和美さんによるライブを行いました。

この他、一覧表に記載する事業を実施しました。

④ 山口情報芸術センター

ミュージシャンの石若駿と YCAM のコラボレーションによる新作インスタレーション作品を発表しました。

会場である山口情報芸術センター1階のホワイエに配置された22枚のシンバルにコイルとマイクを取り付け、コイルの駆動に伴うシンバルの振動音をマイクで増幅させることで、シンバル同士の共鳴を生み出すもので、石若氏が本作品のために書かれた楽譜が大小さまざまなシ

ンバルから豊かな響きのバリエーションを引き出し、会場に音の風景を描く作品となりました。この他、一覧表に記載する事業を実施しました。

(3) 育成・支援事業

財団の目的及び事業を賛助する市民等を組織化するため、平成9年度に発足した財団友の会の継続とともに、市民の文化活動に助成金を交付して支援する「市民文化活動支援事業」を行いました。

① 友の会の組織化と運営

財団の目的及び事業に賛助する市民と機能的な連携を図るために発足した「公益財団法人山口市文化振興財団友の会 Ars Nova Yamaguchi」(呼称:エニー)の会員加入促進に努めるとともに、積極的な情報提供を行いました。

- ・発足時期 平成9年4月1日
- ・会費 入会金(更新時には不要):500円、年会費:1,500円
- ・会員特典 チケットの優先予約・割引購入、チケット・情報資料の無料郵送
　　ワイカムシネマ及び中原中也記念館の招待券贈呈
- ・会員数(令和5年3月31日現在) 1,342名(参考:前年3月31日現在 1,024名)

② 市民文化活動支援事業

営利を目的としない個人、団体等が行う文化事業に助成する事業として、審査を経た13件に助成を行いました。

- ・実施期間 令和4年6月1日～令和5年2月28日
- ・応募件数 15件(うち2件は事業中止)

助成団体一覧

	申請者名	申請事業の名称
1	UB Eccentrix Party 会長 福田 由紀	MUSIC Party & Workshop
2	山口音楽振興会 まんてん 会長 中村 彰臣	交通安全及び 青少年薬物乱用防止啓蒙コンサート
3	山口現代邦楽集団 代表 山田 浩道	第10回 Anniversary 演奏会 ～邦楽器によるアンサンブルの愉しみ～
4	山口日独協会 会長 フランツ・エムデ	室内楽の演奏会
5	長門峡観光協会 代表 河村 龍雄	冬の長門峡 「中原中也」パートⅡ

6	大野 進二	地域を描くビデオ映像の制作
7	日伊協会YOVe' ST山口 理事長 ロベルト ピビリ	日伊合同写真展 Paesi 2022
8	一般財団法人YMA山口ミュージックアカデミー 代表理事 棟久 佳代子	一般財団法人YMA山口ミュージックアカデミー立ち上げ 記念事業 カルメンと共に演、大人も子供もオペラ歌手
9	NPO法人ほっぺこどもの森 理事長 江藤 美知子	母と子のためのヒップホップ ～ヒップホップを楽しもう
10	中野 聰	HEART2022関連事業 県美界隈展 赤れんが編
11	山口川柳吟社 会長 西田 義舟	山口県総合芸術文化祭2022 第70回山口県川柳大会
12	山口の朗読屋さん 会長 林 伸一	福田百合子先生を囲む朗読+お話+歌う会
13	Do a front 代表 藏田 章子	山口の文化土壤の歴史をひもとく

(4) 調査研究事業

① 中原中也研究

関係資料の調査、収集、複製の製作等により、中原中也研究を推進しました。

② 自主企画事業に関する調査及び研究

事業企画の研究のため、公演ごとのアンケート調査を随時行いました。

(5) 情報収集・提供事業

① 山口文化情報誌「a n y」の発行

財団の事業を広報し、収集した市内及び周辺の文化情報を定期的に提供する情報誌として、「a n y」を年間4号発行しました（第119～122号、各A4版5,500部）。

② 「中原中也記念館 館報」第28号の発行

中原中也記念館の年間活動記録、新資料の紹介、関係者の寄稿などを掲載した「中原中也記念館 館報」の第28号を発行しました（令和5年3月31日発行、A4版、2,500部）。

③ ホームページによる情報提供

財団及び山口市民会館、中原中也記念館、山口情報芸術センターのウェブサイトにより、イベント情報等を随時発信しました。

企画事業一覧

財団事務局

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
日仏国際共同製作 新作舞台作品 東芋×ヨルグ・ミュラー「もつれる水滴」	5月14日(土)、15日(日) YCAMスタジオA ※計2回公演	日本が誇る現代美術家・東芋（たばいも）と、現代サーカスパフォーマーのヨルグ・ミュラーによる新作映像舞台作品を、日仏、ならびに富山オーバードホールを中心に集まった国内の劇場4館の共同製作で発表しました。布と身体の動きと映像によってこれまでに見たことのない舞台表現を実現し、客席を魅了しました。	330人	前売 一般 3,000円 特別割引 2,500円 25歳以下 1,500円 高校生以下 500円
【関連】ヨルグ・ミュラーによる身体ワークショップ	5月11日(水) YCAMスタジオB	出演者であるヨルグ・ミュラーを講師に迎え、ジャグリングのコツや、オブジェと身体との関係性など、実際に身体を動かしながらゲーム感覚で体験できるワークショップを実施し、小学生から大人まで幅広い年齢層の方が参加しました。	20人	無料
【関連】バックステージツアー	5月15日(日) YCAMスタジオA	公演終了後に作品で使用された舞台装置や、映像、音楽の仕掛けなどを紹介するバックステージツアーを実施しました。	26人	無料
ピアニカの魔術師	5月28日(土) 山口市民会館 大ホール	<認定NPO法人こどもステーション山口との共同主催> ミッチャリーリ(ピアニカ)、高田亮介(ギター)、SEAI(ドラム)の3人からなる“ピアニカの魔術師”の演奏会を3年ぶりに開催しました。 巧みな息遣いや想像を超えた驚きの奏法で演奏されるお馴染みの楽器ピアニカや、カスタネットの音色に圧倒され、終始大賑わいの時間となりました。	373人	前売 一般 3,500円 25歳以下 2,700円
串田和美 独り芝居 野外劇「月夜のファウスト」	5月20日(金) クリエイティブ・スペース赤れんが 外庭	緊急事態宣言により多くの劇場が休館するさなかに奇跡的に生まれ変わった、串田和美の舞台「月夜のファウスト」のひとり芝居バージョンを、野外劇として上演しました。 演劇の原点に回帰し、小さなステージで繰り広げられる壮大な物語を前に、集まつた観客は思い思いに想像力を働かせ、中世を舞台にしたファウスト博士の世界に引き込まれていました。 また開演前には、キッチンカーの出店や歌手・アコーディオン奏者の上田剛志によるミニライブも実施しました。	180人	無料（投げ銭）
to R mansion 「にんぎよひめ」	6月18日(土) YCAMスタジオA ※計3回公演	照明の特殊な仕掛けにより暗闇のカーテンを舞台上に出現させる「テアトル・ノアール」を実現できる国内唯一のカンパニー、「to R mansion」が大胆にアレンジしたコメディタッチの「にんぎよひめ」を、光と闇が織りなす驚きに満ちた舞台空間で上演しました。 主人公のにんぎよひめが双子というオリジナルの設定と、本格的な身体パフォーマンスによって物語は展開し、こどもはもちろん大人までもが圧倒的なステージに魅了されました。 また、0歳からでも入場可能な作品のため、多くのお子さんに向けて観劇体験を提供することができました。	789人	前売 一般 3,000円 特別割引 2,500円 25歳以下 1,500円 高校生以下 500円
【関連】ゆらゆら 海のいきものを作ろう！ワークショップ	6月11日(土) YCAMスタジオA ロビー	認定NPO法人こどもステーション山口から講師を迎えて、ビニールテープや紙コップ、紙皿等を使って海の生き物を作るワークショップを実施しました。 製作物は会場ロビーに飾り、海の中のような空間を演出しました。	79人	無料
【関連】海になろう！ワークショップ	6月12日(日) YCAMスタジオB	山口市で演劇活動をしている中野志保、宮崎萌美を迎えて、身体全体を使って海を表現するワークショップを実施しました。 雨や水たまり、川や温泉などの様々な水を身体で表現し、最終的には参加者みんなで海になりました。	13人	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
ミュージカル「夜の女たち」	10月6日(木) 山口市民会館 大ホール	戦後間もない大阪を舞台に、戦争で夫を亡くし敗戦後の生活苦から娼婦に堕していく女性をシビアに描いた溝口健二監督による映画「夜の女たち」を基に、KAAT芸術監督・長塚圭史が初のミュージカル作品を創作。作曲に荻野清子、構成台本・演出に長塚圭史を迎えて上演しました。 江口のり子、前田敦子など豪華顔ぶれを迎えたステージで、満席に近いお客様が来場し、熱のこもったお芝居に生演奏が彩られ、息をつく暇がない物語の展開に圧倒されました。	1,170人	前売 一般 6,500円 25歳以下 3,500円
松元ヒロ・ソロライブ	11月3日(木・祝) 山口市民会館 小ホール	<認定NPO法人こどもステーション山口との共同主催> 社会風刺コント集団「ザ・ニュースペーパー」の旗揚げに参加し、その後、独立してソロ活動を続ける松元ヒロ。政治や社会情勢を斬った内容にとどまらず、本や映画など多岐にわたる題材を演目ソロライブを開催しました。 また、前日にはワイカムシネマで松元ヒロのドキュメンタリー映画を上映し、舞台挨拶も行いました。	174人	前売 一般 3,200円
元気やまぐち創造プロジェクト 管弦楽アンサンブルと和太鼓のコラボレーション	11月4日(金) 山口市民会館 大ホール	<山口県内の他地域のホールとの共同主催> 世界の和太鼓奏者・林英哲をスペシャルゲストに招き、国内オーケストラのトップクラスの演奏家が共演する山口県オリジナルのコンサートを山口県内の公立ホールが連携し実施しました。 山口県全域で行う共同でコンサートということで、2館のチケットを購入すると安くチケットが購入できるアンコール割引を実施し、観客が複数のホールを行き来しやすい仕組みを作りました。 また、山口公演では、近隣の小学校2校・中学校1校の児童・生徒を公開リハーサルに招待し、出演者による解説を交えつつ迫力ある和太鼓と管弦楽のアンサンブルを堪能していただきました。	273人 (公開リハーサル980人)	前売 一般 3,000円 25歳以下 1,500円
わくわく寄席 (公文協アートキャラバン事業 剧場へ行こう!!2)	11月6日(日) 山口市民会館 小ホール	昔から大衆に愛されてきた日本独自の芸能である落語、講談をはじめ漫談、紙切りなどが一度に堪能できる寄席を山口で体験してもらう機会として実施しました。 小さな寄席空間を山口市民会館に創り出し、出囃子も生演奏するなど、寄席の雰囲気と、話芸をたっぷり楽しんでいただく機会となり、観客からも継続を希望する声をたくさんいただきました。	130人	前売 一般 3,000円 25歳以下 1,500円
和楽器バンド ボカラ三昧2 大演奏会	11月12日(土) 山口市民会館 大ホール	<キャンディー・プロモーション、ラグタイムとの共同主催> 詩吟、和楽器とロックバンドを融合させた新感覚ロックエンタテインメントバンドによる全国ツアードです。 ボーカルの鈴華ゆう子は残念ながら休養中のため、残りのメンバー7名で実施。パワフルな演奏と魅力あふれるステージ演出に会場は熱気にあふれています。	390人	前売 VIP指定席 15,000円 一般指定席 10,000円
東京芸術座「12人の怒れるおとこたち」	11月20日(日) 山口市民会館 大ホール	<認定NPO法人こどもステーション山口との共同主催> 父親殺しの罪で裁判にかけられていたスラム街に暮らす少年の罪をめぐって、12人の陪審員は評決のため陪審員室に集まり、お互いの名前も知らぬまま、ぶつかり合う…。世界中で“法廷ものの”の名作として上演され続けている「12人の怒れる男たち」を東京芸術座によって上演しました。 迫力ある舞台に目が離せない1時間45分となりました。	207人	前売 一般 3,500円 25歳以下 2,500円

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
朗読劇 泉ピン子の「すぐ死ぬんだから」	11月27日(金) YCAMスタジオA	「愉快痛快」と日本中を元気にした内館牧子のベストセラーソノラ小説を舞台化。泉ピン子が女優人生の集大成として、初の朗読劇に挑みました。相手役は、テレビドラマで共演の多い村田雄浩。息ぴったりの名コンビでお届けしました。終演後のアフタートークでも泉ピン子節が炸裂し、会場を最後まで笑いと感動で包み込んでいました。	325人	前売 一般 5,000円 特別割引 4,500円 25歳以下 2,500円 高校生以下 1,500円
小椋佳 ファイナル・コンサート・ツアー「余生、もういいかい」	12月4日(日) 山口市民会館 大ホール	<夢番地広島との共同主催> 1stアルバム『青春～砂漠の少年～』(1971年)発表から約半世紀、ついに最後となった全国コンサートツアーを、山口でも開催しました。 その反響は大きく、多くの観客によりチケットは完売となりました。	1,450人	前売 一般 8,000円
パフォーミングアーツ・セレクション in Yamaguchi (公文協アートキャラバン事業 創劇へ行こう!!2)	12月11日(日) YCAMスタジオA	世界的に活躍する振付家・ダンサーである酒井はな、中村恩恵、安藤洋子の3名が、コロナ禍で創作したそれぞれの個性が生かされた3者三様の作品をショーケース形式で発表。ダンスの歴史にフォーカスすることでダンスの「継承」と「再構築」の2つの視座からプログラムを構成した「ダンスの系譜学」を上演しました。 ダンス教室に通う子どもたちのみならず、普段みるとことのないシニア層にも多く来場していただきました。	244人	前売 一般 3,000円 特別割引 2,500円 25歳以下 1,500円 高校生以下 500円
田楽座「楽まつり」	12月16日(金) 山口市民会館 大ホール	<認定NPO法人こどもステーション山口との共同主催> 日本各地の祭りや伝統行事に伝わっている祭り囃子、獅子舞、太鼓、神楽、唄などの「まつり芸能」の舞台を田楽座がショー形式で上演。普段見る機会の少なくなった貴重な機会となり、来場者から大きな反響を得ることができました。	235人	前売 一般 3,500円 25歳以下 2,500円
DYNAMIC賢者の音 I～辻本玲と仲間たち～	1月22日(日) 山口市民会館 大ホール	当財団のオリジナルの企画・制作の第一弾。国内外で活躍中の最も旬な演奏家による、室内楽コンサートの新シリーズとして、チェロ/NHK交響楽団首席チェロ奏者の辻本玲をメインに迎え、小編成のアンサンブルコンサートを行いました。 コンサート前日には、山口市民会館で行われた「ニューアイヤーバンドフェスティバル」の閉会式にゲスト出演して、ミニコンサートを実施。山口市内の管弦楽部所属生徒約70人にも弦楽指導を行い好評をいただきました。 また、当日は山口大学管弦楽団メンバーの協力で開演前に0歳からのロビーコンサートを実施。本公演には入場できない小さなお子さんを連れたたくさんの方の来場がありました。 本コンサートオリジナルの焼き菓子やコーヒーの販売もあり、質の高いコンサートをアットホームな雰囲気で味わっていただくことができました。	381人 (前日ゲスト 演奏400人) (弦楽指導 70人) (ロビーコン サート 150人)	前売 一般 3,000円 ペア 5,500円 高校生以下 1,000円
人形劇団むすび座「トッケビー鬼ヶ島と呼ばれた島一」	3月12日(日) ニューメディアップラザ山口 多目的シアター	<認定NPO法人こどもステーション山口との共同主催> 鹿児島県子ども劇場協議会の中高生・青年とむすび座のスタッフ・役者が一緒に韓国へ”共通体験ツア”に行き「歴史・文化・人権」をテーマに創り上げた作品を上演。観終わった後、何かを語りたくなる「人形劇の新境地」に子どもも大人も魅了されました。	138人	前売 一般 3,500円 25歳以下 2,700円

山口市民会館

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
小曾根真 featuring No Name Horses ~THE BEST~	6月25日(土) 山口市民会館 大ホール	ジャズピアニストの小曾根真を中心に結成され、2022年に15周年を迎えた、総勢15名のビッグバンド「No Name Horses」による公演を行いました。 公演では、プラス、ジャズの管楽器界のスターが繰り広げる迫力あるサウンドと美しい音色が会場内に満ち溢れました。 リーダーの小曾根真による縦横無尽なピアノ演奏と、楽しいトークも秀逸で、興奮と感動を存分に味わえる公演となりました。	850人	一般 5,000円 ※学生半額
山口市民会館ストリートピアノ設置記念「お披露目ピアノコンサート」	7月20日(水) 山口市民会館 エントランスホール	市民がより音楽に親しみ、音楽を通じての交流が広がることを目的に、だれもが自由に演奏できるストリートピアノをエントランスホールに設置しました。また、山口市出身のピアニストを招いてお披露目コンサートを開催し、中学生や近隣の方々にグランドピアノの美しい音色を楽しんでいただきました。	70人	無料
(仮)笑福亭鶴瓶・笑福亭べ瓶二人会	当初開催予定日等 8月上旬 山口市民会館 大ホール	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、開催を中止しました。		
特撰東西落語名人会	9月23日(金・祝) 山口市民会館 大ホール	上方落語界の大御所にて、今なお全国で精力的に落語会を開催する桂文珍をはじめ、テレビでもおなじみの噺家3人による落語会を開催しました。 東西の噺家たち（桂文珍・桂米團治・柳家三三）が、それぞれ落語を披露。会場は笑いに溢れ、多くのお客様に日本の伝統話芸に親しんでいただきました。	500人	一般 4,300円
日本センチュリー交響楽団 山口市特別演奏会	11月10日(木) 山口市民会館 大ホール	飯森範親指揮による「新世界」は表情豊かで、観客を引き込み、神尾真由子による「ヴァイオリン協奏曲」は圧巻の演奏で、会場を感動の渦に巻き込みました。	1,000人	S席 3,000円 A席 2,000円
山口きずな音楽祭 vol.10+4	12月25日(日) 山口市民会館 大ホール	クリスマス市の風物詩となった山口きずな音楽祭は、今回で14回目の開催となりました。 オープニングでは、山口市内の高校生約150名がLE VELVETSと共に、初めてテーマ曲『きずな』の生演奏が実現しました。	700人	一般 6,000円 学生 3,000円
第25回ニューイヤーバンドフェスティバル2023	令和5年1月21日 (土) 山口市民会館 大ホール	小学生から一般の団体まで、幅広い年齢層が参加し、クラシックや映画音楽、歌謡曲、吹奏楽曲など、様々な曲を披露しました。 また、アンサンブルコンテスト中国大会に出場する2団体の演奏もあり、それぞれの団体が個性溢れるステージを繰り広げました。	600人	無料
映画上映会 「劇場版 おいしい給食 Final Battle」	令和5年1月29日 (日) 山口市民会館 大ホール	給食という身近な内容をテーマにした映画の上映会だったため、親子で来場された方が多く、鑑賞後に世代を超えて盛り上がる光景が印象的でした。 また、継続的な映画上映を望む声が多くありました。	130人	一般 1,200円 シニア・学生 1,000円
映画上映会 「劇場版 おいしい給食 卒業」	令和5年2月11日 (土・祝) 山口市民会館 大ホール	旧軽食喫茶室のスペースを活用して、サックス奏者とピアニストによるジャズの演奏会を開催しました。 初の試みでしたが、多くの方がご来場され、狭い空間ならではのライブ感を堪能していただきました。	220人	一般 1,200円 シニア・学生 1,000円
2023 Valentine JAZZ LIVE	令和5年2月12日 (日) 山口市民会館 旧軽食喫茶室		40人	一般 1,500円 高校生以下 1,000円

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
第50回市民コンサート	令和5年3月21日 (火・祝) 山口市民会館 大ホール	独唱・合唱・声楽アンサンブルの出演者が多く、歌声の多いコンサートでした。 また、今年は山口ジュニアオーケストラ結成30年目であることから、ソプラノ歌手の白川深雪さんと、テノール歌手の藤田卓也さんに、山口ジュニアオーケストラと共に演していただきました。 オペラ歌手二人の出演によって、華やかな締めくくりを迎えることができました。	700人	無料

中原中也記念館

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
中原中也生誕祭「空の下の朗読会」	4月29日(金・祝) ユウベルホテル松政 (山口市湯田温泉三丁目)	毎年、中也の生誕日に館の前庭で開催していましたが、今年は雨天によりユウベルホテル松政での開催となりました。 詩の朗読を好んだ中也にならい、自作や愛読の詩を朗読する一般参加の朗読会とシンガーソングライターの二階堂和美によるライブを行いました。	120人	無料
中也web朗読会	4月29日(金・祝)	オンライン・イベントとして、中也または自作詩の朗読を動画でTwitter投稿（ハッシュタグ#中也web朗読会2022）していただきました。	投稿22件	無料
第7回ぼうしの詩人賞 ～あつまれ！未来の中也たち！～	募集 7月1日(金)～10月16日(日)	帽子をかぶった中也の肖像写真のイメージから名付けられた「ぼうしの詩人賞」は、山口市内の小中学校に在籍する児童・生徒を対象に、「中原中也」や「詩」に触れる機会をつくるため創設したもので、今回で第7回目を迎めました。 12月3日に表彰式・朗読会を行いました。	応募93篇、 入選11篇 表彰式・朗読会50人	無料
中也忌	10月22日(土) 経塚墓地（吉敷）	職員による墓参りにあわせて、館内やウェブフォームなどで募集したメッセージをお供えしました。	メッセージ 26通	
【関連】 狐の足あととのコラボ企画	10月21日(金)～23日(日) 中原中也記念館、 狐の足あと	通常の相互利用割引に加えノベルティグッズをプレゼントしたほか、狐の足あとで定番の「中原のカフェラテ」に加え記念カフェメニュー（中也の敷紙つき）を提供しました。	—	
【関連】 マイシ交換会	10月22日(土)、23日(日) 中原中也記念館	好きな中也の言葉を見つけてつくる自分のマイシ（名詩×名刺）の交換会を、山口県立大学の学生グループとの共催で行いました。	参加18人	無料
YouTubeを使った情報発信	インターネット（特設ウェブサイト）	新型コロナウイルス感染症の影響で全国からの来館が難しい状況が続くなか、会期が終了した展示を紹介する動画をYouTubeにて配信しました。	配信4本	無料
展示及び関連行事				
第19回テーマ展示「中也の本棚——日本文学篇」	2月16日(水)～令和5年2月12日(日) ※特別企画展期間を除く 中原中也記念館	中原中也是読書家でした。中也の本棚にはどんな本が並んでいたのでしょうか？2016年のテーマ展示「中也の本棚—外国文学篇」に続き、今回は日本文学に焦点を当てます。 本展では、中也が読んだ本、中也による書評などを通じ、中也が受けた文学的影響や同時代の文学について紹介しました。	15,429人	
企画展Ⅰ「中也の住んだ町—幼少期」	4月20日(水)～7月24日(日) 中原中也記念館	山口で生まれた中也は、生後半年で中国大陸の旅順へ向かい、その後6歳で山口に戻るまで、父・謙助の転任とともに、柳樹屯、広島、金沢と移り住みました。 生まれ故郷とは違う土地で育まれた、幼い日の記憶や家族が語った思い出話は、中也の作品に大きな影響を与えたといわれています。 本展では、当時の町の様子や同時代の文学者との接点などにも触れながら、中也の幼少期について詳しく紹介しました。	3,559人	
特別企画展「坂口安吾と中原中也——風と空と」	7月28日(木)～10月2日(日) 中原中也記念館	本展は、「安吾・風の館」所蔵の坂口安吾関連資料と当館蔵の資料を通じ、坂口安吾と中原中也の交友と文学的接点を紹介する展示です。 本展では、語学学校のアテネ・フランセ、酒場ウインゾー、雑誌「紀元」、作家の檀一雄、牧野信一など、安吾と中也の接点となる場所・雑誌・人物を基点にして紹介しました。 また、「風」や「空」など、二人の文学に関わりの深いキーワードから、作品の共通点や相違点を浮き彫りにすることで、私たちの心に響く安吾と中也の文学的魅力に迫りました。	3,379人	

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
【関連】特別企画展プロムナード・トーク	7月31日(日)、8月20日(土)、9月25日(日) 中原中也記念館	特別企画展の会期中に、展示担当職員による展示解説を行いました。	11人	
【関連】三浦末雄×坂口綱男 公開対談	8月6日(土) 山口市菜香亭 (山口市天花一丁目)	坂口安吾と中原中也を起点にして、芸術のこと、お二人のエピソードなど、ざっくばらんにお話しいただく対談を行いました。 出演：三浦末雄（ミヅマアートギャラリー エグゼクティブ・ディレクター）、坂口綱男（坂口安吾の長男、新潟市「安吾 風の館」館長、写真家、エッセイスト）	48人	無料
【関連】ワイカムシネマ連携「坂口安吾原作映画特集」	第一弾：8月3日(水)～7日(日) 第二弾：9月18日(日) YCAMスタジオC	坂口安吾原作映画をワイカムシネマの担当者がセレクト。第一弾は「白痴」（1999年/日本）、第二弾は「シネマ歌舞伎『野田版 桜の森の満開の下』」（2019年/日本）を上映しました。	95人	YCAMシネマ料金
【関連】ワイカムシネマ連携「坂口安吾原作映画特集」トークイベント	8月6日(土)、7日(日) YCAMスタジオC	映画「白痴」の監督による舞台挨拶や、制作にまつわるエピソードなどについてのトークイベントを行いました。 出演：手塚眞（8月6日）、坂口綱男（8月7日）	44人	無料
企画展II「中也、この一篇——「一つのメルヘン」」	10月5日(水)～令和5年4月16日(日) 中原中也記念館	中也の代表作をじっくりと味わうシリーズ企画、第4回目は「一つのメルヘン」を紹介しました。 この作品は「文芸汎論」昭和11年11月号に発表され、のちに中也の第二詩集『在りし日の歌』に収録されました。国語の教科書にも多数掲載され、中也の代表作として人気の高い詩の一つです。 本展では、この詩が書かれた背景や、詩の舞台になったといわれる故郷・山口の風景、特徴的なオノマトペの使い方など、さまざまな角度から作品を読み解きました。	9,588人 (3月末時点)	
第20回テーマ展示「詩集『山羊の歌』」	令和5年2月15日(水)～令和6年2月12日（月・祝） 中原中也記念館	中原中也の第一詩集にして、生前唯一の詩集でもある『山羊の歌』。200部限定出版という、比較的少部数の出版でしたが、小林秀雄、河上徹太郎、草野心平らが高く評価し、詩人・中原中也の名を広く知らしめる本となりました。 『山羊の歌』収録詩全44篇の中には、「サーカス」「汚れつちまつた悲しみに……」といった代表作の他、詩の方針が立ったとする「朝の歌」や、自らの生き方を問いただす「いのちの声」など、読み応えのある詩が多く、刊行からおよそ90年経った現在も、その魅力は失われていません。 本展は、刊行までの糺余曲折、収録詩の解説、刊行後の読者の反応など、さまざまな視点から『山羊の歌』を紹介しています。	2,537人 (3月末時点)	
屋外展示	前期 5月～10月 後期 11月～令和5年4月 中原中也記念館外庭	中也ゆかりの山口線をイメージした枕木を一部使用した中庭では、今年のテーマ「天気」にちなんだ中也の詩を紹介しました。	—	
特別展示				
震災復興応援企画	4月1日(金)～令和5年3月31日(金) 中原中也記念館1階情報コーナー	当館と福島市およびNPO法人「創る村」との交流事業を紹介しました。	17,966人	
第27回中原中也賞特別展示	4月20日(水)～5月22日(日) 中也記念館1階中也記念室	受賞作品 国松絵梨『たましいの移動』と國松絵梨を紹介しました。	1,650人	
連続テレビ小説「ちむどんどん」関連 ミニ展示	7月28日(木)～10月2日(日) 中原中也記念館1階中也記念室	「ちむどんどん」の台本のほか、ドラマで使用されたオリジナル『中原中也詩集』やエピソードを紹介しました。 また、当館ウェブサイトでは、ドラマで朗読された詩の全文を紹介しました。	3,379人	

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
萩原朔太郎と中原中也—萩原朔太郎大全2022	10月26日(水)～11月27日(日) 中原中也記念館1階展示室	萩原朔太郎没後80年を記念し、全国52か所の文学館などがそれぞれ特色ある展覧会を同時多発的に開催しました。当館では、二人の署名入り詩集を展示するとともに、テーマ展示・企画展の朔太郎関連パネルを案内しました。	1,814人	
第7回「ぼうしの詩人賞～あつまれ！未来の中也たち！～」入選作品展示	12月3日(土)～令和5年2月19日(日) 中原中也記念館1階中也記念室	「ぼうしの詩人賞」の入選作品を展示しました。	4,352人	
初公開 新発見資料2点	令和5年2月15日(水)～19日(日) 中原中也記念館1階展示室	「朝の歌」原稿、瀧口武士宛書簡を展示しました。	397人	
公開講演				
第1回 公開講演	9月17日(土) ユウベルホテル松政 (山口市湯田温泉三丁目)	「中原中也の会」との共催により、講演会を行いました。 演題：「中原中也 未発表詩篇の可能性」 講師：佐々木幹郎（詩人）	56人 オンライン 25人	無料
公開対談「詩と声と音楽と」（第2回 公開講演）	令和5年2月4日(土) カリエンテ山口(山口県婦人教育文化会館) (山口市湯田温泉五丁目)	第一部は、中也の末弟でハーモニカ奏者の伊藤拾郎が遺した演奏を聴き、同じ表現者としての精神に思いを馳せながら、詩のことばと声や音楽との関わりについての対談を行いました。 出演：和合亮一（詩人）、中原豊（館長） 第二部は、伊藤拾郎の音色を受け継ぐ山口県ハーモニカクラブ・吉本小百合の演奏、和合亮一と中原館長による朗読を行いました。	50人	無料
読書会				
中原中也を読む会	毎月第4金曜日	教育普及事業として実施しました。 テーマに沿った中也の詩を読み込んだり、記念館の展示を学芸員の解説とともに見学するなど、気軽におしゃべりしながら、詩の世界を楽しく味わうことができます。	71人	無料
機関誌				
「中原中也研究」第27号	8月31日(水)発行	本号では中也とデザインについて特集し、エッセイ、講演・対談録、論究、新発見資料、館蔵資料・書誌目録などを掲載しました。 編集：中原中也の会、「中原中也研究」編集委員会、中原中也記念館	800部発行	2,000円
館報				
館報第28号	令和5年3月31日(金)発行予定	寄稿、令和4年度の展示やイベント、新収蔵資料紹介等を掲載する館報を発行しました。	2,500部発行	無料
運営協議会				
第1回 中原中也記念館運営協議会	4月30日(土)	令和3年度事業報告、令和4年度事業計画などを議事に開催しました。	一	
第2回 中原中也記念館運営協議会	11月19日(土)	令和4年度事業報告（上半期）、令和5年度事業計画、開館30周年記念事業、事業検討委員会の設置などを議事に開催しました。	一	

山口情報芸術センター

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
アート事業				
石若駿+YCAM新作インスタレーション Echoes for unknown egos with cymbals	4月29日(金・祝)～6月12日(日) YCAMホワイエ	石若駿とYCAMのコラボレーションによる新作インスタレーションです。石若駿+YCAM新作パフォーマンス公演「Echoes for unknown egos—発現しあう響きたち」の一環として開催しました。 本作は石若がこれまでの演奏で感じてきたシンバルが発する空気の振動に対する好奇心から発想されたもので、会場内に配置された22枚のシンバルにはコイルとマイクが取り付けられ、コイルの駆動に伴うシンバルの振動音をマイクで増幅されることで、シンバル同士の共鳴が生み出されます。 石若が本作のために書いたスコア(楽譜)が、シンバルから倍音の構成や音の高低、大小などの豊かな響きのバリエーションを引き出し、会場に音の風景を描きました。	4,936人	無料
石若駿+YCAM新作パフォーマンス公演 「Echoes for unknown egos—発現しあう響きたち」	6月4日(土)、5日(日) YCAMスタジオA、ホワイエ	ジャンルを超えた幅広い活動で注目を集める打楽器奏者の石若駿とYCAMのコラボレーションによる新作パフォーマンスを発表しました。 本作では、石若の演奏に耳をそばだて、多様かつ繊細な音の表現を可能にする人工知能をはじめとする「エージェント（代行者）」を開発。 演奏を通じたエージェントとのコミュニケーションは、新しい演奏のアイデアを石若に与え、音から音楽に発展する要素、共演者とのつながりなど、人工知能（AI）を通じて、石若の音楽性の核心的部分を再発見していくプロセスを作り出しました。 また初日のソロ公演を経て、2日目はサックス奏者・松丸契が参加し、パフォーマンスに多面性を与えるました。	244人	前売 一般2,500円 他 当日 一般3,000円 他
【関連】 パックスステージツアー	5月21日(土) YCAMスタジオA	石若駿+YCAM新作パフォーマンス公演の舞台裏に迫るイベントを、石若によるデモンストレーションを交えて行いました。	20人	無料
sound tectonics installation #5 ／ Licaxxx新作サウンドインスタレーション 理性と情動'22 YCAM編	5月14日(土)～令和5年1月29日(日) YCAM中庭	中庭を会場にサウンド・インスタレーション作品を展開する展覧会シリーズ「sound tectonics installation」の第5弾として、DJ／ビートメイカーのLicaxxx（リカックス）による作品を発表しました。 本作は、トラックメイカーのDan Kubo、電子音楽家のKazuki Muraokaをコラボレーターに迎えた新作で、音楽も含めた芸術表現全般における鑑賞行為そのものを批評的に捉えることをテーマにしており、作品鑑賞にまつわるさまざまな環境の情報-天候や気温、鑑賞者の人数などをもとに、リアルタイムに楽曲を生成する展示を行いました。	11,980人	無料
【関連】 ギャラリーツアー	7月17日(日)、8月14日(日)、 9月11日(日)、10月9日(日)、11月13日(日) YCAM中庭	「Licaxxx新作サウンドインスタレーション 理性と情動'22 YCAM編」をYCAMスタッフらとともに鑑賞するギャラリーツアーを開催しました。	32人	無料
Audio Base Camp #1 はじめてのガチ聴き	9月2日(金)～4日(日) YCAMスタジオA、ホワイエ	国内でも最高レベルの音響環境と言われるYCAMのスタジオAに、ライブ・コンサート向けの大規模かつ高品質なスピーカーをセッティングし、特定のテーマに沿った録音物を楽しむイベントで、今回が初の開催となりました。 アーティストでサウンドエンジニアの大城真を監修に迎え、研究者やアーティスト、レコード店主などさまざまな専門家が、日本の民謡や電子音楽、初期のビニール盤といったテーマに応じて多種多様な録音物を紹介しました。 また、レコードに造詣の深いDJたちによるプログラムもホワイエにて同時開催。 繊細かつ大迫力の音響に身を委ねながら録音物を楽しむ本イベントは、録音物を通じた音の冒険へと鑑賞者を誘いました。	327人	前売 一般1,300円 他 当日 一般1,500円 他

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
Yamaguchi Seasonal 2022	9月17日(土)～12月25日(日)	YCAMがこれまで制作／発表してきたインスタレーション作品を、山口市の中心市街地や史跡で公開する展覧会です。 両作品はいずれもメディアテクノロジーを応用し、アーティストとYCAMのコラボレーションのもと制作された、YCAM発の代表的なインスタレーション作品で、国内外の美術館や芸術祭でも数多く展示され、好評を得てきました。2020年からは山口市内の特設会場で長期展示を重ねており、今回が3年目の展示となります。 各展示の詳細は以下のとおりです。		
坂本龍一+YCAM InterLab Forest Symphony	常栄寺(山口市宮野下)	樹木が発する微弱な生体電位をもとに生成したサウンドを用いたインスタレーション作品の再展示を行いました。	8,629人	大人300円 (常栄寺拝観料)
坂本龍一+高谷史郎 water state 1	YCAMサテライトA(山口市駅通り)	水が見せるさまざまな表情を、水そのものを素材に用いて表現するインスタレーション作品の再展示を行いました。	716人	無料
【関連】 ギャラリーツアー	Forest Symphony : 10月2日(日)、9日(日)、16日(日)、 23日(日)、11月6日(日)、13日(日) (日)、27日(日)、 12月11日(日)、25日(日) water state 1 : 9月 17日(土)、10月8日(土)、15日(土) 、11月5日(土)、 12日(土)、26日(土)、 12月10日(土)、12月24日(土)	展示作品をスタッフとともに鑑賞するツアー形式のイベントを行いました。 展覧会の背景にある社会的テーマや技術的動向についての解説のほか、参加者同士で作品について議論し、意見を共有する機会も積極的に設けました。	114人	無料
鎖国 [Walled Garden] プロジェクト／ローレン・リー・マッカーシー+カイル・マクドナルド新作パフォーマンスアンラーニング・ランゲージ	11月12日(土)～令和5年1月29日(日) YCAMスタジオB	アメリカを拠点に活躍するアーティスト、ローレン・リー・マッカーシーとカイル・マクドナルドとYCAMによる新作パフォーマンス公演を、YCAMが国内外のさまざまな専門家とおこなってきた研究開発プロジェクト「鎖国 [Walled Garden]」プロジェクトの成果として開催しました。 テクノロジーの発展により、私たちは個人の嗜好やライフスタイルに沿ったAIのアシストを受けられるようになりましたが、その背景にはインターネットを通じて私たちの活動を収集、分析し、次の行動を予測する巨大なシステムがあります。 本作は、「AIにはない人間の資質とはなにか?」というテーマを探求する観客体験型のパフォーマンス作品となっており、こうした状況に光を当てるものとなりました。	586人	一般 500円 25歳以下、 any会員、障がいを持つ方及び同行の介護者1名 無料
【関連】 バックスステージツアー	7月24日(日) YCAMホワイエ	「アンラーニング・ランゲージ」の制作現場を公開し、アーティストとともにデモンストレーションなどを体験できるイベントです。初公開に先駆けて、アーティスト自らが制作現場において本作のコンセプトや着想のきっかけなど、作品の背景となるストーリーを語り、また作品のシステムについてもデモンストレーションを交えながら紹介しました。	10人	無料
【関連】 「鎖国 [Walled Garden] プロジェクト」アーカイブ展示	11月12日(土)～令和5年1月29日(日) YCAMホワイエ、2階ギャラリー	情報とインターネットのこれからを考えるYCAMの研究開発プロジェクト「鎖国 [Walled Garden]」プロジェクトのこれまでの成果を紹介する展示を、新作パフォーマンス「アンラーニング・ランゲージ」の関連イベントとして開催しました。 この展示ではプロジェクトで開発した2つのワークショップについて、さらに「アンラーニング・ランゲージ」につながるインターネットの今日的なトピックのひとつ「監視資本主義」について紹介したほか、特別オンライン企画として文筆家、木澤佐登志による「木澤佐登志のワクワクどうぶつ占い」も実施しました。	1,827人	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
【関連】ザ・クリティカル・エンジニアリング・ワーキング・グループ インスタレーション アンインテンデッド・エミッションズ	11月12日(土)～令和5年1月29日(日) YCAMホワイエ	スマートフォンなどのモバイルデバイスに付属するWi-Fiの「自動サーチ機能」を利用して、自動的に共有されるユーザーデータを分析、可視化するザ・クリティカル・エンジニアリング・ワーキング・グループによるインスタレーション作品を、新作パフォーマンス「アンラーニング・ランゲージ」の関連イベントとして展示しました。	1,827人	無料
【関連】オープニングパフォーマンス	11月12日(土) YCAMスタジオB	ローレン・リー・マッカーシー+カイル・マクドナルドによる新作パフォーマンス「アンラーニング・ランゲージ」の作品空間を舞台に、作品のバックストーリーを演じるパフォーマンスを行いました。	53人	無料
【関連】アンラーニング・ランゲージ：オープニングトーク マシンと見る・聴く	11月12日(土) YCAMホワイエ	アーティストのローレン・リー・マッカーシーとカイル・マクドナルドが、情報学研究者のドミニク・チェンと、マシンとの出会いが示唆する人間のコミュニケーションや創造力、これからのAIやインターネットについて語りあうトークイベントをアンラーニング・ランゲージ：オープニングトークとして開催しました。	80人	無料
【関連】クリティカル・エンジニアリングとは	11月12日(土) YCAMホワイエ	ザ・クリティカル・エンジニアリング・ワーキング・グループ(CE)のダニーヤ・バシリエフとベンクト・ショーレン、またCEのもとで1年間にわたって研修を重ねてきたYCAMの三浦陽平によるトークイベントを開催し、批評者としてのエンジニア像をリードしてきた、CEの活動を紐解きました。	50人	無料
【関連】サンカクトーク	11月13日(日)、12月3日(土)、4日(日)、令和5年1月29日(日) YCAMホワイエ	作品と自分と他者の「三者」を行き来しながら対話するイベントを行い、作品について自分の考えを話し、また他の参加者の話を聞くことで、新たな視点を発見につなげました。	17人	無料
【関連】ネットにくらす、わたしのみつ	11月23日(水)、12月10日(土)、11日(日)、永和5年1月21日(土)、22日(日) インターネット(ビデオ会議システム)	YCAMが2020年から展開している、情報とインターネットの未来をテーマとした研究開発プロジェクト「鎖国【Walled Garden】プロジェクト」の成果を応用して開発した、インターネットにおける自身と他者との「見えないコミュニケーション」について学ぶオリジナルの教育プログラムを実施しました。	9人	無料
【関連】ギャラリーツアー	11月27日(日)、令和5年1月28日(土) YCAMホワイエ	キュレーターをはじめとする制作スタッフとともに、作品を鑑賞するツアーフormatのイベントを行いました。 ツアーでは、ザ・クリティカル・エンジニアリング・ワーキング・グループと1年間活動をともにしたYCAMのスタッフが制作エピソードなどを語りました。	8人	無料
【関連】日本のインターネットの変遷といま	12月3日(土) YCAMホワイエ	評論家／漫画原作者のさやわかによるトークイベントを開催しました。 私たちが日常的に接するインターネット。それはなぜ現在の形になったのか。イベントでは日本での登場から今日まで、多彩なカルチャー事象からインターネット受容史が語られました。	25人	無料
【関連】ことばのラーニングとアンラーニング 人とAIはどう違うのか	12月4日(日) YCAMホワイエ	言語学や情報科学をテーマに著作活動をおこなう川添愛によるトークイベントを開催しました。 言葉はどう学ばれ、また「アンラーニング」できるのか。イベントでは気鋭の作家が言葉を通して知るマシンと人間の違いについて語られました。	29人	無料
【関連】アンラーニング・ランゲージ：クロージングトーク 監視資本主義のその先へ－インターネットの未来	令和5年1月28日(土) YCAMホワイエ、インターネット(YouTube Live)	リサーチジャーナリスト／アーティスト／エンジニアのスリヤ・マトウと、アーティスト／エデュケーター／アクティビストのチエ・テユンによるトークイベントを、「アンラーニング・ランゲージ」のクロージングトークとして開催しました。 インターネットを含むテクノロジーや、その利用者である私たちは、なぜ進化し続けなければならないのかについて、トークセッションとディスカッションを通じて参加者と共に考えました。	現地視聴 23人 配信視聴 105回	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
The Flavour of Power—紛争、政治、倫理、歴史を通して食をどう捉えるか？	令和5年3月11日(土)～6月25日(日) YCAMホワイエ	YCAMが実施する研究開発プロジェクト「食と倫理リサーチ・プロジェクト」の成果を発表する展覧会です。プロジェクトの過程で、インドネシアを拠点に活動する8人組のアーティスト集団、バクダパン・フード・スタディ・グループとともに食にまつわる倫理的な側面にまつわる調査を実施。おもに太平洋戦争中の日本とインドネシアの食における関わりから、農作物の遺伝子改変や単一作物の生産への依存（モノカルチャー）を取り上げました。展覧会では、これらのリサーチの成果を映像インсталレーション、カードゲーム、資料展示として発表しています。このほか会期中、野草採取のワークショップやカードゲームの体験会なども開催しています。	継続実施中	無料
sound tectonics installation #6／toiret status 新作サウンドインスタレーション Sensory Internal Clock (for plants)	令和5年3月25日(土)～10月1日(日) YCAM中庭	中庭を会場にサウンド・インスタレーション作品を開催する展覧会シリーズ「sound tectonics installation（サウンド・テクトニクス・インスタレーション）」の第6弾です。今回は、音楽家／ビートメイカーのtoiret statusによるサウンド・インスタレーション作品を発表しています。toiret statusは、山口県在住のビートメーカーで、国内外から高い注目を集めしており、近年は展覧会への楽曲提供もおこなうなど、幅広く活躍しています。今回発表する作品は、YCAMの館内にある中庭を会場とした新作のサウンドインスタレーションで、アーティストにとって初の展示となります。作品制作と発表を、食事・消化・排泄・洗浄になぞらえ、「水に流す」ことをテーマに活動を続けるアーティストならではの、縦横無尽にサウンドが駆け巡る体験が会場内に生み出されています。	継続実施中	無料
教育普及事業				
YCAMぐるぐるラジオ	公開収録日：5月29日(日)、6月25日(土)、7月23日(土)、8月25日(木)、9月24日(土)、11月26日(土)、1月20日(金)、2月26日(日) YCAM旧レストランスペース他	YCAMのスタッフがパーソナリティとなり、アーティスト、リサーチャー、山口のひとたちと共に、メディアテクノロジー、アート作品、暮らしのことなどに、YCAMが「頭をぐるぐる動かしている様子」を発信するポッドキャスティング番組、「YCAMぐるぐるラジオ」を制作しました。計8回、YCAM内で生収録を行い、音声はインフォメーションスペースで、収録の様子は旧レストランスペースで公開。その後は、音楽ストリーミングサービス「Spotify」についてでも聴取いただけます。	再生数 合計660回	無料
わたしもアートがわからない		芸術作品をより楽しみ、鑑賞を深めるためのレクチャーアイベントを行いました。 各回の詳細は以下のとおりです。		
vol.2「わからない」からはじまるコミュニケーション	7月30日(土) YCAMスタジオA	講師の福のり子は「作品を深く鑑賞すること」と「他者とのコミュニケーション」には密接な関係があると考え、これまで教育現場や美術館で対話型鑑賞の普及活動に取り組んできました。このレクチャーアでは、作品をより深く鑑賞するためのミニワークや、参加者と実際に作品鑑賞を行なながら、芸術表現をめぐる「わからなさ」に対するひとつのアプローチを紹介しました。	86人	無料
vol.3「わからなさ」の重さをはかる	令和5年2月4日(土) YCAMスタジオA	講師の渡辺健一郎は、演劇と、演劇の現場で行われるワークショップの研究に取り組んできました。これまでのレクチャーアでは、絵画や立体彫刻やインスタレーション作品を取り上げてきましたが、このレクチャーアでは演劇やパフォーミングアーツといった身体表現を取り上げ、こうした作品を鑑賞する際の面白さや鑑賞のコツについて紹介しました。	36人	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
鑑賞ナビゲーターキャンプ2022	8月6日(土)、7日(日) YCAMスタジオA ※2日間通し	本イベントでは、鑑賞教育の専門家で研究者の伊達隆洋を講師に迎えて、対話を通して芸術作品を鑑賞する手法「対話型鑑賞」を取り上げ、参加者はその手法や効果を、レクチャーやワークショップを通じて学びました。美術館の教育普及プログラムに携わる人をはじめ、企業内での人材育成や研修などチームビルディングに携わる方にも参加いただけるプログラムとし、様々なバックグラウンドの参加者へ対話型鑑賞の基本から実践までを本格的に学ぶ機会を提供しました。	35人	参加費 15,000円
地域開発事業				
meet the artist 2022：メディアとしての空間をつくる	通年実施	山口市内の空き家を活用して、一時的に文化施設を創出するプロジェクトです。市民をはじめとするプロジェクトメンバーが中心となって、クリエイティブな活動をおこなうアートプロジェクトのシリーズ「meet the artist」の第7弾として実施しています。 このプロジェクトでは、全国的にも高い空き家率となっている山口市をフィールドに、空き家を解体／改修しながら、ごく小規模なイベントスペースに転換。そしてYCAMがこれまで培ってきたイベント制作のノウハウや、クリエイターとのネットワークを駆使して、多種多様なイベントを実施していきます。 <u>各イベントの詳細は以下のとおりです。</u>		
第2回 ウィキペディアタウン 山口	4月24日(日) YCAM多目的室	インターネット上の百科事典・ウィキペディアに、街の文化財や観光名所などの情報を書き込む編集イベント「ウィキペディアタウン」の山口版を行いました。	15人	無料
第1回 未来の中園町の運動会	5月7日(土) 旧金子邸(山口市中園町)	さまざまなアイデアが詰め込まれたオリジナルの競技を実施する運動会形式のイベントを開催しました。	14人	無料
中園町ミートアップ	5月9日(月)、26日(木)、6月3日(金)、13日(月)、16日(木)、20日(月)、25日(土)、7月3日(日)、11日(月)、24日(日)、26日(火)、29日(金)、8月9日(火)、9月1日(木)、5日(月)、10月5日(水)、6日(木)、11月28日(月)、12月2日(金)、8日(木)、14日(水)、20日(火)、21日(水)、24日(土)、令和5年1月13日(金)、14日(土)、21日(土)、27日(金)、28日(土)、30日(月)、2月5日(日)、8日(水)、11日(土)、18日(土)、26日(日)、3月1日(水)、9日(木):旧金子邸(山口市中園町)	日本各地でイベントやスペースなど、オルタナティブな「場」を提供する人々を毎回ゲストに迎え、その運営にまつわるさまざまなトピックについて、参加者とディスカッションを繰り広げました。	296人	無料
中園町で逢いましょう	6月11日(土)、7月15日(金)、16日(土)、8月13日(土)、14日(日)、9月11日(日)、12日(月)、10月10日(月)、11日(火)、11月11日(金)、12日(土)、12月10日(土)、11日(日)、令和5年1月11日(水)、12日(木)、2月11日(土)、12日(日) 旧金子邸(山口市中園町)	「meet the artist 2022」の舞台となる旧金子邸の現在の状況をお伝えするイベントを開催しました。 第1回目は、建物の基本的な機能や間取りや、これまでの活動を紹介し、第2回目では、音を用いたイベントや演芸などの可能性を探りました。また、第3回目では「ゆっくりこわすを考える」と題したワークショップを行うなど、毎回様々なイベントとともに、金子邸の「今」を紹介しました。	180人	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
金子邸とはなんだったのか	7月13日(水)、8月26日(金)、令和5年2月16日(木)、22日(水) 旧金子邸(山口市中園町)	「meet the artist 2022」の舞台となる旧金子邸の解体にあたっては、在来工法や電気設備、水道、建築法規などさまざまな分野の専門家が調査に訪れます。この住宅からどのような知識や経験を引き出すことができるのか、彼らの視点から見た旧金子邸の特徴についてレクチャーをおこないます。	45人	無料
中園町サイレント盆踊り	8月24日(水) 旧金子邸(山口市中園町)	地蔵盆の日にあわせて、イヤホンで音楽を聴きながら静かに盆踊りを楽しむイベントを開催しました。	11人	無料
空き家の見方・調べ方 中園町編	8月30日(火) 旧金子邸(山口市中園町)	山口市中園町の空き家を例に、不動産・建築の両面から空き家の特性を捉えるレクチャーを開催しました。	13人	無料
Remeet up in 「カタシロ」	9月23日(金・祝)～25日(日) 旧金子邸(山口市中園町)	ゲストの出演者と進行役が対話をしながらその場でストーリーを紡いでいく即興演劇の公演を開催しました。	23人	無料
中園町サイレントハーモニー	10月30日(日)、11月3日(木)、13日(日)、22日(火)、26日(土)、12月10日(土)、令和5年1月20日(金)、21日(土)、22日(日)、3月6日 旧金子邸(山口市中園町)	ヘッドフォンを用いたコンサートを計9回開催しました。 一般的なスピーカーなどは用いず、演奏者による即興的な演奏を、来場者が持ち込んだヘッドフォンで楽しむタイプのコンサートで、参加者は、ヘッドフォンだからこそ体感できる実験的な音や音楽的な試みを堪能しました。	90人	無料
中園町秋のサイレント盆踊り	11月5日(土) 旧金子邸(山口市中園町)	ラジオの受信機とイヤホンで音頭を聴きながら盆踊りをおこなうイベントを、会場に併設された庭で晚秋を感じながら行いました。	14人	無料
想像上の修辞法	令和5年1月7日(土)～3月18日(土) 旧金子邸(山口市中園町)	アーティストの三原聰一郎によるインスタレーション作品の展覧会を開催しました。	55人	無料
映像を通じて空間を考える	令和5年1月31日(火)、2月7日(火)、14日(火) 旧金子邸(山口市中園町)	解体中の古民家で、コミュニティや空間にまつわる映像を上映し、それについて参加者同士で対話を重ねました。 【上映作品】 vol.1：時のひび割れ vol.2：THE COCKPIT vol.3：美整物 輝かせる時間の黄金	28人	無料
しうぎ作曲ワークショップ	令和5年3月9日(木) 旧金子邸(山口市中園町)	作曲家、ピアニスト、鍵盤ハーモニカ奏者の野村誠が考案した共同作曲の手法「しうぎ作曲」をするワークショップです。	7人	無料
中園町冬のサイレント盆踊り	令和5年3月12日(日) 旧金子邸(山口市中園町)	ラジオの受信機とイヤホンで音頭を聴きながら盆踊りをおこなうイベントを、会場に併設された庭で晚冬を感じながら行いました。	12人	無料
《アートでつなぐまちの活性化事業》 やまぐちアートコミュニケータープログラム2022： 架空の学校「アルスコレ」		スクールの語源である「スコレ」に、芸術を意味する「アルス」を合わせた架空の学校『アルスコレ』は、アートや学びに関するイベントの企画制作に携わる人材を育成するプログラムです。 公募で集まった市民を対象に実施し、参加者は山口市中心市街地のイベントスペースや空き物件で開催されるレクチャーやゼミ、部活動に参加しながら、アートについての学びを深め、「観る力」「面白がれる力」を養います。 <u>各プログラムの詳細は以下のとおりです。</u>		
説明会・初回活動（オリエンテーション）	説明会：8月5日(金) YCAM旧レストランスペース、インターネット(ビデオ会議システム) 初回活動：8月20日(土) YCAMホワイエ	プログラムへの申込者を対象に、「やまぐちアートコミュニケータープログラム2022：架空の学校『アルスコレ』」の説明会と、初回活動としてオリエンテーションを行いました。	78人	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
公開トークイベント んセミ	vol.1：10月1日(土) 洞春寺(山口市水の 上町) vol.2：10月30日 (日) 山口井筒屋(山口市 中市町) vol.3：11月12日 (土) VIVISTOP(山口市道 場門前) vol.4：令和5年1月 22日(日) コトサイト(山口市 中市町)	『アルスコレ』に関連する人々によるトーク イベントです。 トークイベントでは、プログラムの運営に携わ るスタッフと、プログラムに参加するメンバー とのディスカッションを通して、「アート」と 「スコレ（＝余白や余暇）」のある日常や、 そこでの学びへの期待について描き出していく ます。 vol.1ゲスト：山城大督(美術家／映像作家) vol.2ゲスト：鈴木康義、原泉(エデュケーター) vol.3ゲスト：山本ひかる(イラストレーター) vol.4ゲスト：松井利夫(芸術家)	146人	無料
find my water vein - 水脈を 探す -	12月13日(火)、20 日(火) YCAMサテライト A(山口市駅通り)	坂本龍一+高谷史郎のインсталレーション作品 「water state 1」を鑑賞し、心に浮かんだこと ばを書きとめ、組み合わせて詩をつくるイベン トを、プログラムに参加するメンバーが自主的 に企画・制作をおこない、開催しました。 参加者は、その場にいる互いの思いを想像し、 意識しながら、作品を介してことばとことばが 出会い、詩が生まれる過程を体験しました。	11人	無料
商店がはじめて美術館になっ てみた	令和5年1月20日 (金)～29日(日) 明治堂、近江屋、 村上洋傘店、前田 洋服店（いずれも 山口市道場門前）	山口中心市街地の商店街の商店を展示会場とし て、やまぐち新進アーティスト大賞の受賞経験 者の作品を展示する展覧会を開催しました。	1,600人	無料
オープンスコレ「はじめて の〇〇」	令和5年1月22日 (日) 旧ディスクボックス(山口市米屋町)、 tog(山口市駅通 り)、山口井筒屋(山 口市中市町)、 VIVISTOP YAMAGUCHI(山口市 道場門前)	「架空の学校『アルスコレ』」の半年以上に 及ぶ活動の成果を、山口市中心市街地の4箇所で 発表するイベントです。 それぞれのゼミに共通した要素から「はじめて」というテーマを設定し、街の人々が見たこ とのないものに触れる、初めてのことに挑戦するきっかけになるような、レクチャーやワーク ショップ、カフェなど、さまざまなプログラム を実施しました。 【実施プログラム】 ・やったことないことをやってみよう！ ・はじめてこんなにちゃんとみた ・はじめまして、togです。 ・自分で考えたことを、はじめて誰かとやって みる。 ・はじめてを解剖する？ ・「find my water vein - 水脈を探す -」を辿 (たど)る ・架空の出版社『AEL出版』第2回企画座談会 ・音楽をつくる能動的90分間 ・大人もコロガル、小さなダンスクラブ	349人	無料
コロガルあそびのひやっかて ん	11月3日(木)～令和 5年1月29日(日) 山口井筒屋(山口市 中市町)	子どもたちが遊びを通じて自ら考え、創造する ための環境としてデザインされた遊び場「コロ ガル公園シリーズ」の最新版を、山口市中心市 街地活性化推進室と協働して進める「アートで つなぐまちの活性化事業」の一環として実施し ました。 様々な人々が行き交う百貨店や商店街の特性を 活かし、子どもたちのアイデアに対してさまざま な人々からフィードバックを受けることで、 遊びを通じて他者や社会とつながる「コミュニ ケーションツール」としての公園を実現。山口 市中心市街地の活性化につなげました。	15,677人	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
《まちなかアート展覧会事業》 やまぐちアートピクニック	11月30日(水)～12月4日(日) クリエイティブ・スペース赤れんが(山口市中川原町) LOCUS(山口市野田) Ai's Studio(山口市後川原) 十朋亭維新館 杉私塾(山口市下堅小路)	過去に「やまぐち新進アーティスト大賞」を受賞したアーティストの展覧会を開催しました。本展は、アートや学びに関する人材育成プロジェクト「やまぐちアートコミュニケーション2022：架空の学校『アルスコール』」の参加者が主体となって、受賞経験者の作品やその背景を学び、それをもとに企画から実施までをおこなう展覧会で、受賞経験者9名の絵画から立体まで幅広い手法の作品を、山口市内の大阪地区のギャラリーやショップなど4箇所で展示しました。	1,152人	無料
【関連】 ギャラリーツアー	12月3日(土) クリエイティブ・スペース赤れんが(山口市中川原町)	対話によって作品を鑑賞する「対話型鑑賞」で多彩な展示作品を楽しむツアーフォーマットを、「やまぐちアートピクニック」の一環として開催しました。	5人	無料
【関連】 しあわせの香りづくり	12月3日(土) クリエイティブ・スペース赤れんが(山口市中川原町)	作品から感じたことを香りで表現する、五感でアートを楽しむワークショップを開催しました。 このイベントでは、講師のツグミさんと一緒に、様々なエッセンシャルオイルを調合してオリジナルのアロマスプレーをつくりました。	20人	無料
【関連】 オリジナルピクニックシートをつくろう！	12月4日(日) クリエイティブ・スペース赤れんが(山口市中川原町)	オリジナルのピクニックシートをつくるワークショップを、「やまぐちアートピクニック」の一環として開催しました。	20人	無料
【関連】 クロージングトーク	12月4日(日) クリエイティブ・スペース赤れんが(山口市中川原町)	クロージングイベントとして、「やまぐちアートピクニック」の参加アーティストや、企画を担当した「やまぐちアートコミュニケーション2022：架空の学校アルスコール」のメンバーによるトークイベントを開催しました。	35人	無料
《やまぐち子ども未来型学習プロジェクト事業》 未来の山口の授業 at School 2022	通年実施	「未来の山口の授業 at School」とは、YCAMで開発された様々な教育プログラムを地域の公教育の場へ応用する取り組みです。山口市教育委員会や学校の先生、生徒らとともに授業開発を行い、教育現場での実践を目指します。 <u>各プログラムの詳細は以下のとおりです。</u>		
教員研修	8月18日(木) YCAM旧レストランスペース、インターネット(ビデオ会議システム)	YCAMの教育プログラムに興味を持つ教員に対して、授業の情報化に関するレクチャーを行いました。 また本研修では、昨年度より制作している地域の「360°図鑑」について、進め方の説明やアイディア出しなども行いました。	30人	無料
360°図鑑	生雲小学校、秋穂小学校、白石小学校	小学生が、自分達が住む地域について調べ、記したぐるっと360°見渡せる手作りのウェブ図鑑です。生活科や社会科などの授業で実施されている地域学習を発展させ、WEB上で閲覧可能な地域図鑑を児童たちと制作しました。 昨年度からモデル校を2校増やして3校とし、その他にも、市内各小中学校にてドローンによる地域風景の撮影を順次実施しました。 作成した図鑑は、校内で成果発表を行ったうえで、3月中にWEB上に公開します。	学校数 小学校3校	無料
アニメーション壁画「うご板」	宮野中学校	10月22日に宮野中学校の文化祭において、GIGAスクール構想に伴って配備されたタブレット端末を活用し、生徒が作成したアニメーション作品を発表しました。 コラボレーターに秋田公立美術大学准教授の萩原健一を迎え、同氏がこれまでに開発／実施してきたアニメーション制作手法を採用。学校の文化祭では「壁画」は代表的なコンテンツのひとつですが、ICT教育を取り入れた新たな壁画のかたちを提案しました。	学校数 中学校1校	無料
プログラミングを利用した クッキーづくり	二島中学校	パナソニックホールディングス株式会社の高田和豊とフードデザイナーの中山晴奈を講師に招き、パナソニックが教育カリキュラムとして開発した「プログラミングトースター」でクッキーをデザインすることをとおして、味や食感を科学的に考える授業を実施しました。	学校数 中学校1校	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
ラボ事業				
YCAMオープンラボ2022 遍在するアートセンター	9月11日(日)、23日(金・祝) YCAMホワイエ	<p>今日におけるアートや研究開発、公共文化施設のあり方を捉え直すトークイベントを行いました。</p> <p>YCAMは、2003年の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求を軸に多くの作品を発表してきました。このイベントでは、20周年を1年後に控えて、さまざまな分野で創造性と公共性について考察してきたゲストを招き、トークやディスカッションを通してこれらのYCAMの姿について構想しました。</p> <p><u>各トークイベントの詳細は以下のとおりです。</u></p>		
アートは使える？－くらしとの接点を探る	9月11日(日) YCAMホワイエ	<p>来年度、YCAM開館20周年記念事業の一環として、「知の生産と流通の場」としてのアートセンターの機能や役割について、様々な視点の意見を集め、議論を行う展覧会を開催します。</p> <p>そのプレイベントとなるこのトークイベントでは、ウィットワース美術館とマンチェスター市立美術館の館長を務めるアリステア・ハドソンらをゲストに、「有用芸術」というコンセプトとその実践例を参加者との対話も交えながら共有しました。</p>	53人	無料
創造のためのプラットフォームの未来	9月23日(金・祝) YCAMホワイエ	<p>多くの図書館や公共建築の立ち上げにも関わってきたメディア学・図書館情報学の桂英史、舞台芸術のプロデューサー職から介護福祉士を経て、再び公共ホールの館長として創作の現場に戻った志賀玲子、美術家としての活動をベースに美術館館長や大学教授の現場に創造的な発想を展開する藤浩志の3名を登壇者に迎え、今後、創作活動のプラットフォームとして、公共施設が担える役割について議論しました。</p> <p>また、後半には、来場者を交えてのグループディスカッションを行いました。</p>	56人	無料
許家維+張碩尹+鄭先喻 新作展プレトーク	9月23日(金・祝) YCAMホワイエ	<p>来年度、YCAM開館20周年記念事業の一環として、台湾の3人のアーティストがYCAMとのコラボレーションによる新作を世界初公開します。</p> <p>3人のアーティストは、砂糖を通して日本と台湾の関係や、東アジアの近代化の記憶を辿るプロジェクトを行っており、そのプロジェクトの概要と現在制作中の新作についてトークを行いました。</p>	56人	無料
YCAM InterLab Camp vol.4 遠隔・身体・共創	12月16日(金)～18日(日) YCAMスタジオA、インターネット(Youtube Live)	<p>第一線で活躍する技術者や研究者を迎える、今後のメディアアート作品の制作に使用されるツールについて紹介し、国内外の参加者とともに学ぶ集中ワークショップ・シリーズの第4弾を開催しました。</p> <p>このイベントでは、「遠隔・身体・共創」をテーマに、先進的な取り組みを行うゲストを講師に迎え、レクチャーやワークショップを開催。遠隔通信技術がもたらす新しい身体イメージや、今日的な課題について、理解を深めるとともに、表現を軸とした応用可能性を模索しました。</p>	現地視聴 39人 配信視聴 953回	無料

事業名	開催日・会場等	内容	入場者数 参加者数	入場料 参加料
シネマ事業				
真夏の夜の星空上映会2022	8月12日(金)～14日(日) 山口市中央公園	YCAMPに隣接する中央公園で開催する毎年恒例の野外上映イベントを、今年度は入場人数の制限なく開催しました。 心地よい夜風と星空の下、「ボス・ベイビー・ファミリー・ミッション（日本語吹替版）」など計3作品の鑑賞を、親子連れなど多くの方に楽しんでいただきました。 また、飲食店の屋台なども出店し、YCAMPの夏の風物詩として、大きな賑わいを見せました。	1,890人	無料
YCAMP爆音映画祭2022	8月26日(金)～28日(日) YCAMPスタジオA	ライブ・コンサート向けの大規模かつ高品質なスピーカーを用いて映画を鑑賞する、毎年恒例の上映イベントを開催しました。 ブロードウェイのショーを完全映画化した「アメリカン・ユートピア」をはじめとする計13作品を上映。作品内で追求されているサウンド面の「核心」を物語や画面上の構成とともに体感する、これまでにない映画体験を多くの方に楽しんでいただきました。 また、ラジオDJで音楽評論家のピーター・バラカンや映画作家で振付家の吉開菜央など、多彩なゲストを招いてのトークイベントも同時開催しました。	1,130人	前売 1回券 一般1,300円 他 3回券 一般3,600円 他
【関連】 バックステージツアー	8月26日(金) YCAMPスタジオA	「YCAMP爆音映画祭2022」の舞台裏に迫り、映画における音の魅力を探るイベントを行いました。 このイベント用の特別な素材を使い、「爆音」仕様での上映の仕組みを掘り下げました。	35人	要チケット
ワイカムシネマ	通年実施 YCAMPスタジオC	山口県内では上映される機会の少ない映画作品をプログラムの中心とし、作家やテーマ別といつもYCAMPオリジナルの特集上映を通年で実施しています。 昨年度に続き、2月には映画館で観る機会の少ない世界の短編映画を上映するイベント「ショートフィルムフェスティバル」を開催したほか、映画監督や出演者、評論家等を招いたトークイベントも定期的に開催しています。 期間：令和4年4月1日(金)から3月31日(金) 上映作品数：合計 149作品 上映回数：合計 919回 観客動員数：合計 17,807人 関連トークイベント回数：40回 関連トークイベント参加者数：合計 1,619人	17,807人	一般1,300円 any会員・25歳以下・特別割引800円他
【関連】 映画を2回観る会	令和5年2月11日(土)、12日(日) YCAMPスタジオC	作品の魅力をより深く楽しむための鑑賞法を見出し、作品に対する批評的な視点を養うことを目的としたワークショップ形式のイベントで、ある1本の作品をナビゲーターによる解説や参加者同士の感想共有を間に挟んで、2度鑑賞します。 「ショートフィルムフェスティバル」の一環として開催しました。	26人	要チケット

2 受託施設利用状況

(1) 山口市民会館

・大ホール

月	開館日数	使用日数	使用率(%)	使用件数	入場者数
4	30	5	16.7	5	2,829
5	31	5	16.1	4	1,385
6	30	9	30.0	8	1,750
7	31	21	67.7	17	3,675
8	31	16	51.6	8	1,921
9	30	11	36.7	8	3,520
10	31	23	74.2	9	4,885
11	30	16	53.3	11	5,490
12	28	11	39.3	9	5,920
1	28	9	32.1	7	2,935
2	28	16	57.1	13	3,080
3	31	17	54.8	7	3,220
計	359	159	44.3	106	40,610

・小ホール

月	開館日数	使用日数	使用率(%)	使用件数	入場者数
4	30	5	16.7	4	233
5	31	11	35.5	9	703
6	30	9	30.0	9	808
7	31	15	48.4	11	2,181
8	31	12	38.7	11	702
9	30	10	33.3	7	249
10	31	22	71.0	9	1,411
11	30	13	43.3	12	1,780
12	28	19	67.9	13	1,505
1	28	13	46.4	6	1,553
2	28	20	71.4	7	744
3	31	29	93.5	11	1,566
計	359	178	49.6	109	13,435

・展示ホール

月	開館日数	使用日数	使用率(%)	使用件数	入場者数
4	30	10	33.3	3	520
5	31	6	19.4	2	353
6	30	11	36.7	8	557
7	31	15	48.4	9	2,166
8	31	16	51.6	7	1,216
9	30	13	43.3	5	482
10	31	22	71.0	6	1,956
11	30	21	70.0	8	492
12	28	19	67.9	5	1,070
1	28	15	53.6	8	1,723
2	28	22	78.6	4	819
3	31	22	71.0	5	1,027
計	359	192	53.5	70	12,381

(2) 中原中也記念館

(単位:人)

月	一般	学生	年間 バスポート	減額	無料・免除		合計			開館日数(日)			平均入館者数		
					18歳 以下	その他	全体	平日	土日祝	全体	平日	土日祝	全体	平日	土日祝
4月 (うち団体)	442	19	0	8	255	1,263	1,987	383	1,604	24	14	10	83	27	160
5月 (うち団体)	835	49	0	17	123	305	1,329	469	860	26	14	12	51	34	72
6月 (うち団体)	476	15	0	15	144	249	899	525	374	25	17	8	36	31	47
7月 (うち団体)	598	50	0	12	86	258	1,004	380	624	25	14	11	40	27	57
8月 (うち団体)	1,104	115	0	25	304	302	1,850	962	888	26	17	9	71	57	99
9月 (うち団体)	752	67	0	17	71	266	1,173	515	658	23	14	9	51	37	73
10月 (うち団体)	812 (20)	51	0	26	94	619	1,602 (20)	564 (20)	1,038	24	13	11	67	43	94
11月 (うち団体)	965	36	0	11	56	485	1,553	752	801	25	15	10	62	50	80
12月 (うち団体)	656	38	0	18	112	293	1,117	654	463	23	15	8	49	44	58
1月 (うち団体)	712	88	0	243	138	257	1,438	575	863	23	14	9	63	41	96
2月 (うち団体)	1,082	145	0	456	110	525	2,318	1,081	1,237	22	13	9	105	83	137
3月 (うち団体)	938	120	0	22	189	427	1,696	938	758	26	17	9	65	55	84
合計 (うち団体)	9,372 (20)	793	0	870	1,682	5,249	17,966 (20)	7,798 (20)	10,168	292	177	115	62	44	88
割合	52.2%	4.4%	0.0%	4.8%	9.4%	29.2%	100.0%								
開館後累計 (うち団体)	581,611 (38,041)	30,443 (2,895)	492	4,751	46,109 (3,754)	127,003	790,409 (44,690)	353,259 (28,893)	437,150 (15,797)	8,498	5,220	3,278	93	68	133
開館後割合	73.6%	3.9%	0.1%	0.6%	5.8%	16.1%	100.0%								

(3) 山口情報芸術センター

・月別入場者内訳

月	開館日数	入館者数	平均入場者数
4	25	31,783	1,271
5	26	35,707	1,373
6	26	34,083	1,311
7	27	36,586	1,355
8	26	38,736	1,490
9	25	32,225	1,289
10	27	38,893	1,441
11	25	37,746	1,510
12	24	28,381	1,183
1	24	30,235	1,260
2	24	34,706	1,446
3	21	27,626	1,316
計	300	406,707	1,356

・スタジオA 月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率(%)	使用件数	入場者数
4	25	2	8.0	1	231
5	26	18	69.2	3	382
6	26	14	53.8	5	1,033
7	27	3	11.1	1	86
8	26	18	69.2	5	1,524
9	26	10	38.5	3	327
10	27	4	14.8	2	213
11	25	7	28.0	2	325
12	24	9	37.5	2	361
1	24	0	0.0	0	0
2	24	6	25.0	4	35
3	21	4	19.0	2	0
計	301	95	31.6	30	4,517

・スタジオB 月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率(%)	使用件数
4	25	0	0.0	0
5	26	5	19.2	3
6	26	16	61.5	2
7	27	23	85.2	1
8	26	0	0.0	0
9	26	0	0.0	0
10	27	13	48.1	1
11	25	25	100.0	1
12	24	24	100.0	1
1	24	23	95.8	1
2	24	17	70.8	2
3	21	21	100.0	1
計	301	167	55.5	13

・スタジオC 月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率(%)	使用件数
4	25	25	100.0	36
5	26	26	100.0	37
6	26	26	100.0	33
7	27	27	100.0	37
8	26	26	100.0	32
9	26	26	100.0	35
10	27	27	100.0	39
11	25	25	100.0	36
12	24	24	100.0	32
1	24	24	100.0	33
2	24	24	100.0	33
3	21	21	100.0	27
計	301	301	100.0	410

・多目的室 月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率(%)	使用件数
4	25	13	52.0	21
5	26	17	65.4	28
6	26	20	76.9	36
7	27	22	81.5	39
8	26	17	65.4	33
9	26	19	73.1	34
10	27	22	81.5	42
11	25	22	88.0	50
12	24	18	75.0	34
1	24	15	62.5	21
2	24	18	75.0	26
3	21	15	71.4	23
計	301	218	72.4	387

令和4年度 山口情報芸術センター 観察・見学一覧

NO.	日付	来館者	地域	人数	観察/見学
1	4月25日	松下理恵氏ほか、高知県四万十町役場職員	県外	8	観察
2	5月13日	全国都市教育長協議会定期総会参加者+添乗員	県外	44	見学
3	5月23日	市議会議員+随行員	市内	12	観察
4	5月27日	山口市立二島小学校・名田島小学校4年生	市内	14	見学
5	5月27日	阿武町立阿武小学校5年生	県内	19	見学
6	5月29日	IAMAS 元学長 三輪 真弘氏	県外	1	観察
7	5月31日	玉川学園+丸善	県外	18	観察
8	6月9日	山口市立小鯛小学校 4年生	市内	30	見学
9	6月10日	山陽小野田市立本山小学校4年生、5年生	県内	60	見学
10	6月16日	福岡市コンテンツ振興課	県外	3	観察
11	6月17日	東京有楽町新アート施設(通称:YSY)プロジェクトメンバー	県外	8	観察
12	6月17日	山口市立秋穂小学校4年生	市内	23	見学
13	6月22日	Panasonic of america	国外	2	観察
14	7月4日	(公財)ユリックス宗像事業部 中村健宏氏	県外	1	観察
15	7月7日	平林晃衆議院議員、村上満典市議、其原義信市議+随行1名	県外、県内	4	観察
16	7月8日	山口市立中央小学校(徳地連合)4年生	市内	21	見学
17	7月11日	東京都文化振興部	県外	6	観察
18	7月14日	東京都政策企画局	県外	4	観察
19	7月27日	東京女子美術大学	県外	20	観察
20	8月1日	一般社団法人 東京建築アクセスポイント	県外	2	観察
21	8月25日	山口大学生4名、文化交流課職員1名	県内	5	見学
22	8月26日	NEC ネッツエスアイ相崎さん+帯広畜産大学	県外	4	観察
23	8月31日	アーティスト迎英里子氏、土方大氏	県外	2	見学
24	9月2日	アーティスト河口洋一郎氏 岩谷直美氏(株式会社河口洋一郎芸術科学研究所ディレクター)	県外	2	観察
25	9月9日	山口銀行 蔵重 嘉伸氏	県内	1	観察
26	9月12日	山口市立井関小学校5年生	市内	18	観察
27	9月14日	大分市美術館 美術振興課 学芸担当班 山之上 理加氏	県外	1	観察
28	9月26日	山口市立良城小学校 5年生	市内	151	見学
29	9月29日	小郡小学校5年生	市内	73	見学
30	9月30日	山口市二島小学校・山口市立名田島小学校	市内	17	見学
31	10月6日	山口市立鑄銭司小学校5年生	市内	12	見学
32	10月6日	岩国市立通津中学校2年部	県内	5	見学
33	10月12日	阿東地区小学校連合(生雲小学校・さくら小学校・徳佐小学校)	市内	27	見学
34	10月13日	山口市立嘉川小学校5年生	市内	33	見学
35	10月14日	宮川英之氏(市議会議員)他1名	市内 県外	2	観察
36	10月14日	美祢市立大嶺小学校4年生	県内	52	見学
37	10月26日	山口市立仁保小学校5年生	市内	15	見学
38	11月4日	防府市立大道小学校5年生	県内	31	見学
39	11月7日	山口市立平川小学校5年生	市内	153	見学
40	11月10日	山陽小野田市立厚陽小学校	県内	22	見学
41	11月25日	防府市立新田小学校5年生	県内	90	見学
42	11月26日	台湾文化省副大臣 山口市長 他	国外(台湾) 市内	10	観察
43	12月2日	県内高校美術教員	県内	20	観察
44	12月7日	北村士朗氏(e-ラーニング大賞関係者)	県外	1	観察
45	12月9日	山口市定住希望者 山口市定住促進課職員	県外 市内	4	観察
46	12月15日	岡本仁氏(編集者)	県外	1	観察
47	12月15日	山口南ロータリークラブ	市内	32	観察
48	12月18日	伊坂格氏、森山泰地氏(アーティスト)	県外	2	観察
49	12月21日	岡田理絵氏(el-nexo)	県外	1	観察
50	12月22日	岸正人氏(公益社団法人全国公立文化施設協会)	県外	1	観察
51	1月5日	徳井直生氏(Qosmo／慶應SFC) 牧野豊氏(アーティスト/九大芸工)	県外	2	観察

52	1月5日	丸岡直樹氏(文化庁) 秋山きらら氏(スパイ럴)	県外	2	視察
53	1月7日	片山 俊明氏(DBCLS) バリアント情報標準化研究会参加者	県外	13	視察
54	1月20日	ウェンデリン・ファン・オルデンボルフ氏(アーティスト) Ariane Beyn氏(キュレーター)	国外(ドイツ) 県外	2	視察
55	1月19日	Seo Hyojung 氏(Samsung Art and Design Institute (SADI)教授)	国外(韓国)	1	視察
56	1月23日	森山直人氏(演劇批評家)	県外	1	見学
57	2月2日	森ビル都市企画株式会社	県外	4	視察
58	2月8日	川地真史氏(一般社団法人Deep Care Lab)他3名	県外	3	視察
59	3月5日	中村陽一氏(東京大学大学院情報学環特任教授、前・立教大学社会デザイン研究所所長) 大江結花氏(株式会社メンバーズ)	県外	2	視察
			合計	1118	

3 庶務事項

(1) 役員に関する事項

- ・理事及び監事 11名 (理事任期：令和3年6月23日～令和5年6月)
(監事任期：令和元年5月27日～令和5年6月)

役 職	氏 名
理 事 長	中 野 勉
理 事	大 庭 達 敏
理 事	有 吉 雅 子
理 事	山 口 光
理 事	武 田 雅 行
理 事	菊 屋 吉 生
理 事	河 野 通 孝
理 事	藤 本 孝 治
常務理事	磯 部 素 男
監 事	山 田 典 子
監 事	宇 高 壽 子

(順不同)

・理事会開催状況

開催年月日	審 議 事 項
令和4年4月1日	議案第1号 常務理事の選任について（書面決議）
令和4年5月26日	議案第1号 令和3年度事業報告及び附属明細書について 議案第2号 令和3年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書） 及び附属明細書並びに財産目録について 議案第3号 公益財団法人山口市文化振興財団令和4年度公益目的事業 会計補正予算について 議案第4号 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等に について
令和4年10月27日	議案第1号 令和4年度公益目的事業会計補正予算について 報告事項 令和4年度事業執行の状況について（上半期）
令和5年1月4日	議案第1号 公益財団法人山口市文化振興財団令和4年度法人会計補正 予算について（書面決議） 議案第2号 公益財団法人山口市文化振興財団令和4年度公益目的事業 会計補正予算について（書面決議） 議案第3号 公益財団法人山口市文化振興財団令和4年度収益事業等会 計補正予算について（書面決議）
令和5年3月24日	議案第1号 令和5年度事業計画について 議案第2号 令和5年度法人会計予算について 議案第3号 令和5年度公益目的事業会計予算について

	議案第4号 令和5年度収益事業等会計予算について
	議案第5号 財団組織規程の一部改正について
	議案第6号 一般職員就業規則の一部改正について
	議案第7号 一般職員退職手当支給規程の一部改正について
	議案第8号 一般職員給与規程の一部改正について
	議案第9号 専門員就業規則の一部改正について
	議案第10号 専門員給与規程の一部改正について
	議案第11号 副専門員就業規則の一部改正について
	議案第12号 副専門員給与規程の一部改正について
	議案第13号 事務企画員就業規則の一部改正について
	議案第14号 事務企画員給与規程の一部改正について
	議案第15号 常勤特別任用職員就業規則の一部改正について
	議案第16号 常勤特別任用職員給与規程の一部改正について
	議案第17号 非常勤特別任用職員就業規則の一部改正について
	議案第18号 専門員等退職金支給規程の制定について
	議案第19号 評議員会の日程及び場所並びに目的である事項等について
	報告事項 令和4年度 事業執行の状況について（下半期）

(2) 評議員に関する事項

- ・評議員 4名（任期：平成29年5月26日～令和5年6月）

氏 名
齋 藤 宗 房
吉 光 純 也
福 田 祥 介
田 中 和 人

(順不同)

- ・評議員会開催状況

開催年月日	審 議 事 項
令和4年6月22日	議案第1号 令和3年度事業報告及び附属明細書について
	議案第2号 令和3年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書) 及び附属明細書並びに財産目録について
令和5年3月25日	議案第1号 役員（監事）の選任

(3) 登記及び届出

・登記

登記原因発生	申 請 先	事 由	登記年月日
令和4年3月31日	山口地方法務局	理事および監事の辞任	令和4年4月27日
令和4年4月1日	山口地方法務局	理事および監事の就任	令和4年4月27日

・主務官庁への届出

届出年月日	届 出 先	届 出 事 項
令和4年6月13日	山口県	変更の届出（監事の辞任及び就任）

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、附属明細書は作成しない。

令和5年5月
公益財団法人山口市文化振興財団